

東京ゲートブリッジの技術チャレンジ

東京ゲートブリッジは東京港第3航路を超える全長 2.9km の橋梁の中央部に位置する 160+440+160m の3径間連続のトラス箱桁の複合構造の橋梁です。性能規定型設計体系ベースにして、LRFD を導入し、構造設計はコンピュータで行っています。橋梁用高性能鋼材を使用し、全溶接構造することにより、優れた外観を実現しています。また、新規に開発した高疲労性能の鋼床版を採用しています。東京ゲートブリッジでの技術的なチャレンジについては、下記の YouTube あるいはウェブサイトをご覧ください。

・YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=zoyxs9Od0qU&list=TLGGAqbupHKBI9oxMTA3MjAyNA>

・ウェブサイト https://www.chiiki.tcu.ac.jp/report_new/20230327-8782.php

土木学会誌、vol.97, No.3&4, 2012、東京ゲートブリッジの What's new!
橋梁と基礎、Vol.41, No.10, Vol.42.No.4, Vol.42.No.9, Vol.42, Vol.10,
Vol.42.No.11, Vol.42.No.12

